



# 飯道山

～ 山岳信仰の拠点・甲賀忍者発祥の地 ～

飯道山冬景色 題字 富峰山

## 飯道山観光協会の取り組みと今後の活動

飯道山観光協会 会長 福本 正治

皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。  
今回は、事業計画に沿った前半の活動状況を振り返りました。

- 1 飯道山登山者に安全・安心の取り組みとして、4月から5回にわたり他の団体と連携し、登山道の整備・点検等を行いました。
- 2 公報活動では、地域に密着した飯道山観光協会を目指し、9月に創刊号「飯道山」を発行しました。また、ホームページを更新し、報道機関等の協力を得、地域での当協会の認知度の向上に努めています。
- 3 地域の歴史文化の掘り起こしでは、他の団体と連携し、登山者等に飯道山、飯道寺、木食応其上人入定窟社や関連史跡等の説明を行い、また自己研鑽にも努めました。
- 4 杣川夏まつり、小学校の課外授業においては関係団体と連携し、参画と実働を行いました。  
本年度より地域密着活動を大切に、2回の小学校の草刈りを実施しました。青少年の郷土愛への支援、飯道山清掃登山を実施し、小学生や地域の皆様が多数ご参加いただき成功裏に終えることが出来ました。  
飯道山清掃登山を通じて、青少年や地域の皆様に自然保護への必要性を感じていただくことが出来ました。
- 5 JRふれあい飯道山ハイキングの実施については、他地域の登山者との交流や観光資源の魅力の推進を図るために関係団体と連携しながら実施しました。



\*古来より、山岳信仰が栄えた霊山飯道山及びその周辺史跡の歴史的価値を認識し、登山者の増加、自然保護について地域の方々に認識を深めていただける活動を行います。  
今後とも飯道山観光協会へのご支援・ご理解を賜りますよう宜しくお願いいたします。

### ボランティア スタッフの 募集



飯道山は豊かな自然や歴史的建造物などが点在し、県内外の方から観光スポットとして高く評価されています。地域活性化の担い手（チーム飯道山）として、活躍していただける方を募集しています。いまできることを始めませんか？

**申込先・問合せ先** メールか電話にて申し込み

メール: [shinobinosatokuno1@gmail.com](mailto:shinobinosatokuno1@gmail.com)

TEL: 090-9254-7842 (伴野)

(1)氏名 (2)住所 (3)電話番号 をご連絡ください。



本年度の活動状況などホームページにてご覧いただけます！



山歩きを楽しんでいるときに、ごみが落ちていたら楽しみも減少します。

飯道山観光協会では、地域の方に清掃登山を呼びかけ、毎年10月の第1日曜日を清掃登山の日として、取り組んでいこうと計画しました。今年は、甲賀市内5町・東近江市・草津市・湖南市から66名の方が参加申し込みをして頂き、第1回 飯道山清掃登山を10月6日(日)に実施しました。

貴生川小学校に集合し、開会の言葉の後、福本会長・村上県議会議員から挨拶がありました。安全面やごみの分別の説明後、混雑緩和のため、時間差をつけて貴生川小学校を出発しました。

登山道に入るまでの街道には、通行人が捨てたと思われるビニール袋や空き缶など、様々なものが落ちていました。登山道に入ると、ごみは少なく登山者のマナーの良さを感じました。また、参加者で飯道山に登って、ごみを拾っておられることも聞き感動しました。

救急搬送車を待機していましたが、けが人も無く、皆さん岩壺不動尊休憩所・杖の権現茶屋・一の峰(山頂)・二の峰(飯道神社)まで、元気に楽しく清掃活動をして頂きました。

この日の山は、穏やかで緑が眩しく飯道山の峰からの眺望がすばらしかったです。二の峰 飯道神社前広場では、枯れ枝・落ち葉の清掃も無事終了しました。昼食後、飯道神社拝殿前で「飯道山」の話があり、富くじの後全員で記念写真を撮って下山しました。

参加者皆様のご協力と関係機関のご支援を得て、無事成功裏に清掃登山活動が終了されたこと、また、あいコムこうか・こうかぽーたる・SNSで発信していただいたことに感謝いたします。日本遺産に認定された「忍びの里 伊賀・甲賀」において、飯道山・飯道神社は、その構成文化財です。地域の宝で貴重な自然を残す飯道山をいつまでも、大切に守る活動を今後も続けて行きたいと考えています。皆様のご協力をお願いいたします。



皆さんお疲れ様でした。今日は、「3つの嬉しい」を感じました。その1は、ハイカーによるごみが大変少なくなっていること。その2は、多くの道行く人から「ありがとうございます」と声をかけられたこと。その3は、協会からいただいた「飯道山おにぎり」がとても美味しかったことです。更に、色々な人と交流することもできとても楽しかったです。

清掃登山に参加して、すがすがしい気持ちになりました。山の風景を見ながら、皆さんと協力して、ごみを減らすことが出来ました。飯道山がきれいになるよう、自分も協力できたことに、有意義なイベントだと思いました。

## 飯道山の歴史 No.2 木食応其上人墓前法要を終えて



### 飯道寺住職 梅田 義将

令和六年九月十八日、今年も木食応其上人の墓前法要が飯道山山頂にて、真言宗玉桂寺住職を導師に地元真言宗の寺院によって厳修されました。私も飯道寺住職として、随喜し焼香をあげて上人を偲ぶと共に生涯を思い起こす機会となりました。

応其上人は近江の国に生まれ、戦乱

の時代には近江の佐々木氏、大和の越智氏に武士として仕えたが、主家の滅亡後三十七歳の時、高野山に登り出家して仏門に入り、木の実・草の根だけを食して極限を超える修行に努められました。天下は秀吉の時代に移り、戦乱の兵火は高野山に向かう事となりました。寺運存亡の危機に迫られた高野山は、応其上人を一山の使者としました。上人は单身秀吉に接見し高野山攻めを止めるよう説得されました。危機をお救いになり、その上秀吉の財をもって諸堂伽藍の再興など寺門の興隆に努められました。晩年は真言修験道先達として、大峰山や熊野山に入峰していた役行者開基の近江飯道寺で余生を養い、人心の浄化に努められました。

飯道山山頂が高野山中興の高僧とたたえられる上人の遷化の聖地として、祀られている事は甲賀市民として郷土の誇りであり、観光名所としても役割を果たす場となっています。近年飯道山に登る方々が増加している中、地域においてもJRふれあいハイキングや貴生川小学校飯道山登山などが実施され、にぎわいを増しています。この行事に創設七十周年を迎えた飯道山行者講が支援しています。史跡の案内や説明、修験の行場案内、道中の安全の確保など行者講が登山者の一助となるよう活動しています。

今後は甲賀市観光まちづくり協会や飯道山観光協会の事業への協力を進め、飯道山が甲賀市の観光事業の大きな役割を果たすよう取組まなければなりません。

また、行者講の活動は、山岳信仰の継承と伝統行事の伝承を目的としています。コロナ禍前は高野山特使を迎え木食応其上人墓前法要を厳修していました。来年は以前のように特使を迎え、高野山との深い関係を保ち、飯道山を魅力ある山にし、甲賀市の名勝となるように努め、登山道の整備に皆様方のお力をお借りして事業を進めて行きたいと考えています。